



平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月5日
東

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	4,913	0.1	22	△15.3	25	5.3	△12	—
26年11月期第3四半期	4,906	8.5	26	—	24	—	12	—

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 △11百万円(—%) 26年11月期第3四半期 13百万円(214.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	△1.06	—
26年11月期第3四半期	0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第3四半期	5,832	1,525	26.2
26年11月期	5,997	1,573	26.2

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 1,525百万円 26年11月期 1,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.0	50	△15.3	50	△25.0	15	△59.2	1.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年11月期3Q	12,200,000株	26年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	19,401株	26年11月期	17,915株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年11月期3Q	12,181,047株	26年11月期3Q	12,182,085株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外環境ではアジア経済において今後も安定的な成長が期待されるものの、中国においては緩やかに減速し、その他の各国においても景気が減速する動きとなっていることから、先行きについては不透明な状況が継続しています。

日本国内においても景気は穏やかな回復基調が継続していますが、当社の関係する自動車関連業界において、国内自動車生産台数が前年を下回る状況が継続しました。主力販売先のゴム関連市場では、国内タイヤ生産は前年並みで推移するとみられるものの、ゴム工業用品の月別生産量は引き続き低調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは新規顧客の開拓を行ない、中国や東南アジアを中心とする海外販売の積極展開を実施するとともに、新規受託製品の製造販売にも注力しました。また、コストダウンを図るため原材料の供給元の探索や内外の需要の変化に柔軟に対応した生産を実施し、在庫管理を徹底するなど生産の合理化を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49億13百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は22百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益は25百万円（前年同期比5.3%増）となりました。四半期純損失は12百万円（前年同期は12百万円の利益）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内につきましては、タイヤ・合成ゴム用薬品と一部の特殊ゴム薬品の売上を伸ばしました。しかしながら、国内自動車生産台数は前年割れの状態が継続しており、工業用ゴム製品向けの、国内の新ゴム消費量が低調であることから販売が伸びず、全体では前年同期比で売上が減少しました。

輸出につきましては、為替が引き続き円安に進行したことから、中国をはじめとする東南アジア市場での販売活動に注力し、主力商品を中心にこの地域の受注が拡大したことから、一部品目で競合が激化し販売が低調であったものの全体では売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は30億15百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先の国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・メタクリル酸の需要は全体では緩やかに拡大しました。主要品目では売上は前年同期並みとなったものの、一部品目においては顧客の生産減や生産品目減少、また輸入品との競合による販売減となり、国内の売上は減少しました。

輸出部分では、販売活動を強化し、既存の顧客への販売を維持拡大するとともに、積極的に新規顧客の開拓を行いました。しかしながら、中国をはじめとする顧客の稼働率が低調であるとともに、他国企業との競合が激化したことから一部品目で売上が伸びず、全体では売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は6億52百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は顧客の生産がやや低調となったことから前年比で売上が減少しました。染料中間体は顧客需要変化に応じた生産販売を行い、前年並みの売上となりました。農薬中間体は受注減少の品目があったものの、主要品目の顧客の需要増により、全体として売上を伸ばしました。医薬中間体機能性化学品は品目により増減がありましたが、全体では前年同期比で売上が増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は4億98百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は今年に入り当社納入先の需要が減少したため、売上が減少しました。潤滑油向けは一部品目で販売増となりましたが、国内の生産が低調であるとともに輸入品との競合により売上が減少したため、全体では前年並みとなりました。新規用途向けは、品目により売上に増減がありましたが、新規受注の獲得に注力し売上高が伸びたことから、全体では売上が増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は7億48百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては58億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億64百万円減少したことに対し、たな卸資産が65百万円増加したことによります。

負債につきましては43億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億14百万円減少したことによります。

純資産につきましては15億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が49百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月3日に公表いたしました連結業績予想の数字に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から、平成27年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については33.10%に、平成28年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については32.34%にそれぞれ変更しております。

その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が13,544千円減少し、その他有価証券評価差額金が926千円、法人税等調整額が14,471千円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	476,283	660,548
受取手形及び売掛金	2,295,861	2,031,027
商品及び製品	731,009	728,430
仕掛品	297,084	343,562
原材料及び貯蔵品	292,278	313,761
その他	29,848	12,785
貸倒引当金	△2,295	△2,031
流動資産合計	4,120,071	4,088,084
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	848,051	744,850
その他(純額)	764,838	764,071
有形固定資産合計	1,612,890	1,508,921
無形固定資産		
その他	7,491	8,646
無形固定資産合計	7,491	8,646
投資その他の資産		
その他	259,056	228,469
貸倒引当金	△1,717	△1,515
投資その他の資産合計	257,338	226,954
固定資産合計	1,877,720	1,744,522
資産合計	5,997,792	5,832,606
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,271,401	1,157,318
短期借入金	1,070,000	1,340,000
1年内返済予定の長期借入金	204,533	364,086
未払金	265,642	181,517
未払法人税等	5,618	371
未払消費税等	30,304	24,459
賞与引当金	—	49,242
役員賞与引当金	10,000	—
その他	164,269	47,289
流動負債合計	3,021,768	3,164,284
固定負債		
長期借入金	884,591	660,358
役員退職慰労引当金	70,453	71,325
退職給付に係る負債	301,360	260,470
その他	146,154	150,517
固定負債合計	1,402,558	1,142,671
負債合計	4,424,326	4,306,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	882,650	833,192
自己株式	△7,087	△7,322
株主資本合計	1,544,000	1,494,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,474	18,553
為替換算調整勘定	13,989	12,789
その他の包括利益累計額合計	29,464	31,342
純資産合計	1,573,465	1,525,650
負債純資産合計	5,997,792	5,832,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,906,959	4,913,910
売上原価	4,212,354	4,241,845
売上総利益	694,604	672,065
販売費及び一般管理費	667,615	649,213
営業利益	26,989	22,851
営業外収益		
受取利息	237	366
受取配当金	1,476	1,565
不動産賃貸料	6,376	6,183
受取補償金	—	4,775
受取保険金	627	—
貸倒引当金戻入額	—	465
その他	3,777	4,551
営業外収益合計	12,496	17,908
営業外費用		
支払利息	14,763	13,465
その他	720	2,027
営業外費用合計	15,484	15,493
経常利益	24,001	25,267
特別利益		
投資有価証券売却益	19,800	—
特別利益合計	19,800	—
特別損失		
固定資産除却損	5,253	4,288
減損損失	7,390	—
特別損失合計	12,644	4,288
税金等調整前四半期純利益	31,156	20,978
法人税、住民税及び事業税	4,670	990
法人税等調整額	14,374	32,900
法人税等合計	19,044	33,890
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	12,111	△12,911
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,111	△12,911

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	12,111	△12,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,564	3,078
為替換算調整勘定	139	△1,200
その他の包括利益合計	1,703	1,878
四半期包括利益	13,815	△11,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,815	△11,033
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。